

日本海洋学会 2016 年度春季大会 コンビナー・ガイドライン

1. セッションの構成

2016 年度春季大会は、多数の通常セッションの集合として開催されます。個々の通常セッションは、コンビナーによって提案されたスコープを持ち、コンビナーによって編成された学術発表により成り立ちます。

2. セッション提案から採択まで

【セッション提案】

2015 年 9 月 4 日（金）から 10 月 16 日（金）にセッションの募集を行います。下記の項目を明記して締切日必着で海洋学会事務局に E メール（タイトルは「セッション申込」とし、申請者名をファイル名とした添付ファイル）で申し込んでください。締め切り期日を過ぎてからの申し込みは受け付けません。

送付先：日本海洋学会事務局

E メール：jos@mynavi.jp

【申請内容】

- 表題：セッションの名称
- 代表コンビナー：氏名、所属、メールアドレス、電話番号を記載してください。日本海洋学会の会員のみが、代表コンビナーとなることができます。
- 共同コンビナー：氏名、所属、メールアドレス、電話番号を記載してください。共同コンビナーの数に制限はなく、非会員も共同コンビナーになることができます。
- 趣旨：300 字程度で趣旨・目的等を記載してください。
- 研究対象海域：全球、極域、亜寒帯域、亜熱帯域、熱帯域、太平洋、インド洋、大西洋、オホーツク海、ベーリング海、日本海、東シナ海、南シナ海、内湾・沿岸域、瀬戸内海、親潮域、混合域、黒潮（複数選択可）
- 研究分野：物理、化学、生物、境界・複合領域（1 つ選択）
- キーワード：キーワード（4 個以内）を記載してください。
- 招待講演者（1 名）：そのセッションの発表の中で、セッションのスコープに対して大きな貢献をするものや、今後の研究の方向性を示すものは、コンビナーの裁量で、招待講演とすることができます。招待講演に限って、

非会員の講演を認めます。招待講演であっても、参加費等の優遇措置はありません。

- 必要とする会場の広さ（参加予定者数）：部屋サイズについての希望を受け付けます。ただし、大会の会場・会期は限られていますので必ずしも希望に添えない場合があります。予めご了承ください。

【若手会員からの提案】

日本海洋学会では、若手会員からの提案を歓迎します。若手会員中心のコンビナーでセッションを提案する際、プログラム編成委員会が、より経験豊富な会員を共同コンビナーとして紹介することも可能です。希望があれば、セッション提案の際にご相談ください。

【セッションの採択】

個々のセッションの採択は、プログラム編成委員会で決定します。複数のセッションが類似・関連する内容と判断された際には、プログラム編成委員会においてセッションの統合を行う場合があります。

なお、以下に該当するとプログラム編成委員会が判断する場合、当該セッションを不採択とすることがあります。

- 日本海洋学会の趣旨から外れるもの
 - 他のセッションと科学的内容が同一あるいはほぼ同じと考えられるもの（科学的内容がほぼ同じセッションが複数あった場合、協議して一つにまとめます）
 - 内容が科学的見地から不適切、あるいは特定の個人・団体等の誹謗中傷あるいは利益誘導など社会倫理的に不適切と判断されるもの
- セッション採否の結果は、10月末頃にお知らせする予定です。

3. 発表申し込みの呼びかけ・招待講演

【研究発表申し込みの呼びかけ】

採択が決定した段階で、各セッションのコンビナーから関連する会員への積極的な宣伝をお願いします（ただし、日本海洋学会全体のメーリングリストを使つての宣伝はお控えください）。研究発表も申し込み期間は、2015年11月上旬～2015年12月18日（金）となっています。ただし、各セッションの開催日時・会場や口頭発表割当数などは、プログラム編成時まで決定しませんので、特定の日時や口頭発表を確約しての宣伝は避けてください。

【研究発表資格】

大会での研究発表は、大会受付時に個人としての会員資格を有する方に限ります（入会申請中の者を含む）。この資格を有する方には、通常会員、学生会員、賛助会員、名誉会員、特別会員、または終身会員資格のいずれかの区分の会員である個人が該当します。ただし、団体会員または賛助会員である団体に所属する方の場合は、1 団体につき 1 名に限り個人としての会員資格を有しない方でも発表できるものとします。

【講演形態】

発表形式は、口頭またはポスターのいずれかを選択することができます。プログラム編成上の都合により、発表形式の変更を求めることもあります。

口頭発表の時間は、討論も含めて 15 分です。招待講演を除き 15 分から変更することはできません。

ポスター発表では、会期中に 1 時間 30 分程度のポスター会場での立ち会い説明時間を用意します。ポスターの大きさは横 90cm×縦 120cm 程度です。なお、口頭による内容紹介は行いません。

【招待講演】

そのセッションの発表の中で、セッションのスコープに対して大きな貢献をするものや、今後の研究の方向性を示すものは、コンピーナーの裁量で、招待講演とすることができます。招待講演であっても、通常セッションにおいては、参加費等の優遇措置はありません。

以下の通り、招待講演数には制限があります。

- セッション提案時：1 件
- 投稿締め切り後：採択された口頭発表数に応じ、招待講演数を追加することができます。ただし、最終的な招待講演数は、そのセッションの全口頭発表数の 6 分の 1 を超えないものとします。

なお、招待講演の投稿方法は通常的口頭発表の方法と同じであり、参加費等の優遇措置はありません。

セッション提案時に配分される招待講演枠に対しては、できるだけ提案時に招待講演者を確定してください。セッション採択後には、そのセッションの招待講演者名も公開します。

4. プログラム編成

【時間割り作成】

発表申し込み受付終了後に、大会全体の時間割り作成作業を行います。全体を考慮して時間割り案をプログラム編成委員会が作成し、全コンビナーに提示しますので、確認してください。

実際の時間割り作成作業では、発表申し込み数に応じて口頭発表コマ数を配分し、重複を避けたいセッションや連続開催を希望するセッション、希望の部屋の大きさなどを考慮して各セッションの口頭発表開催日・時間帯、ポスターコアタイム等を決めます。ただし、会場数や利用可能時間が限られていますので、必ずしもご希望通りにはならないことがあります。予めご了承ください。

各セッションのポスターコアタイムは、プログラム編成委員会が決定します。

【プログラム編成】

発表申し込み締切日以降、プログラム編成作業を行います。編成作業は、(代表および共同)コンビナーが責任を持って行ってください。

【発表の採択】

コンビナーは、投稿された要旨集原稿の内容を精査してください。以下のように、日本海洋学会における学術発表として不適切と判断される場合には、発表を不採択としてください。なお、採択が疑われる発表についてはプログラム編成委員会にご相談ください。トラブルを避けるため、発表申し込み者に直接連絡することはおやめください。

投稿規定による不採択の基準は以下のとおりです:

- 内容がセッションの趣旨から外れるもの（他に適切なセッションがあればコンビナー間の協議により移動できます）
- 科学的内容が不適切、あるいは要旨集原稿として体裁が整っていないと判断されるもの
- 個人や組織の誹謗中傷などを含み、社会倫理的に、内容が不適切と判断されるもの
- 同一人物が同一セッションに規定以上の複数発表申し込みを行ったり、他人名義（ダミー）など虚偽を含む発表申し込みがなされたと判断される場合

発表者としての申し込みは、計2件まで可能です。ただし、同一セッション内では、口頭発表は1件までとします。発表の採択・不採択についての最終決定はプログラム編成委員会にて行います。

なお、採択されたセッションであっても、最終的な投稿数が6件に満たない場合には、ポスター発表のみの開催か、または関連セッションとの統合開催とさせていただきます。

【発表形態の決定】

コンビナーは要旨集原稿の内容にもとづいて、「口頭発表」・「ポスター発表」のどちらの発表形態が適切かを判断し、申し込まれた発表の発表形態を決定してください。発表申し込み時に申請された「口頭発表」・「ポスター発表」の区別はあくまで発表申し込み者の希望です。コンビナーの裁量により、発表申し込み者の当初希望とは異なる発表形態に変更することができます。

「口頭発表」は、一講演あたり15分（質疑応答込み）です。パネルディスカッション等の開催は認められません。招待講演に限って一講演の時間を20分に設定することが可能です。他の口頭発表については15分から変更することはできません。

会場数の制限から口頭発表可能数には限りがあります。発表申し込み者の「口頭発表」希望を全て満たすことは容易ではなく、ある程度の数の発表申し込み者の希望に添えないことがあることを、あらかじめご了承ください。

【発表の順序】

発表の順序など、発表申し込み者からの希望がある場合には、コンビナーの判断で対応してください。

【他セッションへの移動】

コンビナーの判断により、申し込まれた発表を他の適切なセッションで採択することができます。ただし、コマ数確定後に各セッションの時間枠を再調整することは難しいので、自セッションでの発表を受け付けず、他セッションへ移動（または不採択）させる場合は、必ず発表申し込み締切後の調整期間中にプログラム編成委員会へ申請してください。

【座長の選定】

座長を選定してください（口頭発表が全くないセッションは不要です）。座長には、大会に確実に参加する人を選定してください。座長への依頼や確認は、コンビナーが行ってください。

【セッションの確定と承認】

全てのセッションプログラムは、プログラム編成委員会での検討を経た後に確定されます。

5. プログラム確定後、大会当日まで

【発表タイトル・発表者・共同発表名の変更】

発表申し込み締切日以降、発表者・共同発表者および発表タイトルは、原則として変更できません。

【発表のキャンセル】

発表者からのキャンセルの申し出について、やむを得ないとコンビナーが判断する場合には、プログラム編成委員会にお知らせください。

Q&A

【招待講演について】

Q: 基調講演と招待講演の発表申し込みは、通常講演と同じでしょうか？

A: 通常と同じです。

Q: 招待講演でも投稿料金は同じですか？

A: 同じです。発表申込料・参加料への特別優遇処置はありません。(ただしプレナリーセッションの基調講演は例外)

Q: 一人が申し込むことのできる発表数に制限はありますか？(基調・招待講演はカウントされない等)

A: あります。合計2件までの発表ができます。ただし、同一セッション内では、口頭発表は1件までとします。招待講演も通常の口頭発表と同様にカウントされます。

【講演時間について】

Q: セッションのはじめに趣旨説明の時間を設定してよいですか？

A: 原則として認められません。貴重な口頭発表の時間を削ることは望ましくないので、コンビナーの発表を最初に行うなどして対応してください。

Q: 総合討論の時間を設けたいのですが？

A:そのような時間を割り当てることは原則としてできません。

【その他】

Q: セッション日程はいつ頃決まりますか？

A: 発表申込締切日の3週間後を目処に決まる予定です。